

## INFORMATION

### プラネタリウム春の番組

#### 南半球の星空

南アメリカのチリから見た星空を見上げながら、珍しい南半球の星座や天体などを紹介します。

4月16日(土)→7月10日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日・祝日	11:30 15:30

### 今夜の星空と天文ニュース

今夜の星空の見どころと最新の天文情報。

土曜日	15:30
日・祝日	13:30

### キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

土曜日	11:30 (上映日に注意)
5月7・14・21日	「ドームくん わくせいりょう」
6月4・18日	「たなばたものがたり」
7月2・9・16・30日	「たなばたものがたり」

### MUSIC PLANET ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

土曜日 19:00 (上映日に注意・5月14日は19:30～)

4月30日	「平井堅特集」
5月7・14・28日	
6月4・11・25日	

### プラネタリウムコンサート

6月18日(土) 祥子&ラディッシュ  
「月と星のコンサート」

詳しくはホームページをご覧ください。

#### ■料金(入館料を含みます)

大人450円/小・中学生150円/幼児50円  
土曜日は小・中学生以下無料

#### ■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)  
第2・4火曜日(祝日は開館し翌日休館)  
5月17日(火)～18日(水)(機器保守点検のため)

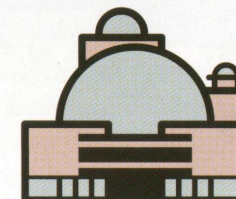
#### ■上映15分前までにこ来館ください。



# PLANETARIUM

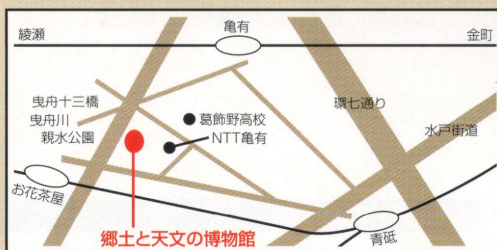
### 南半球の星空

Vol.56 2005・春



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

#### 交通のご案内



- 京成線「お花茶屋」から8分
- JR常磐線「亀有」から25分
- 京成タウンバス  
(有57 亀有一タウンバス車庫)  
[共栄学園][上千葉小学校] 下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。  
電車・バスをご利用ください。

詳しいご案内はホームページをご覧ください。 <http://www.city.katsushika.tokyo.jp/museum>

葛飾区



葛飾区 郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838) 1101

R100  
このパンフレットは再生紙を使用しています。



# 見つけてみよう、やみ夜のカラス。

スピカ



からす座

## ■ウソつきカラスが星座になった

春の南の空、おとめ座のスピカのすぐ西側に、4つの星がゆがんだ四角形を作っています。いずれも3等星と少し暗いのですが、意外と目立ちます。これが『からす座』です。

ギリシア神話によると、このカラスは銀色の翼を持ち、人の言葉を話すこともできたとか。ところがある日、ウソをついてしまったために大事件が起きます。怒った太陽の神・アポロンは、カラスから言葉を奪ってガアガアという醜い鳴き声を与え、銀の翼を真っ黒にぬって、4本の釘で夜空に止めてさらし者にしました。

からす座の4つの星は、この釘をあらわしています。ではカラスの姿は…?と言うと、見ることができません。なにしろ、『やみ夜のカ

ラス』なのですから。

## ■正直になった?カラス

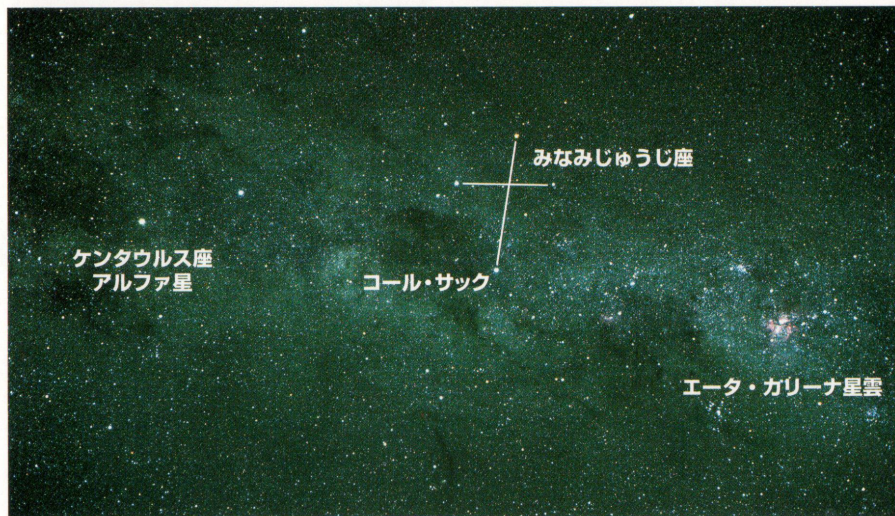
南の国に行ったらぜひ一度は見てみたいのが南十字星。でも、南十字星のニセモノ『ニセ十字』があるのをご存じですか?

どちらが本物の南十字星かわからなくなったら、からす座を探してみてください。からす座が空高く昇っていたら、その真南にあるのが南十字星。ニセ十字はそれより西にずれた、少し遠いところにあるので見分けることができます。

ウソつきカラスも、星座になってからは反省したのでしょうか、私たちに本物の南十字星を教えてくれるのです。

## 南半球・星空の見どころ

南に行くと、日本では見ることができない星や星座を見ることができます。南半球の星空の見どころをご紹介します。



## みなみじゅうじ座付近

南半球で一番にぎやかなのが、みなみじゅうじ（南十字）座あたりの星空です。みなみじゅうじ座は88個ある星座の中で一番小さいのですが、1等星が2個もあるというぜいたくな星座です。

このあたりを天の川がながれているのですが、南十字の東側にはコール・サック（石炭袋）と呼ばれる黒い部分があります。これはチリやガスの集まり・暗黒星雲です。

さらにその東側には、2つの1等星が輝いています。そのうちの1つ、ケンタウルス座のアルファ星は、4.3光年の距離にあり、太陽系に最も近い恒星の1つです。



大マゼラン銀河（上）とタランチュラ星雲（右）



## 大マゼラン銀河

大マゼラン銀河は16世紀、マゼランによる世界一周航海の時に発見されました。私たちの銀河系のお伴の小さな銀河の1つで、約16万光年彼方にあります。

この銀河には、若い星が数多くあり、今も新しい星が次々と生まれています。

赤く見えているのはタランチュラ（毒グモ）星雲。これもまた、星の誕生現場です。